

光明プロジェクト 事業後アンケート 受入れ企業

受入れ企業 9社

回答企業 9社

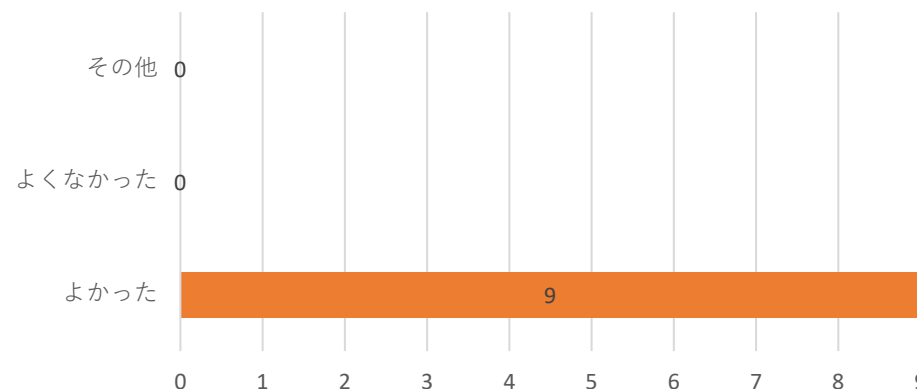
回答率

100%

設問.1 あなたの関わった生徒達の活動への取り組みはどうでしたか？

よかった	9名
よくなかった	0名
その他	0名

あなたの関わった生徒達の活動への取り組み
はどうでしたか？



設問.2 上記回答の理由はなぜですか？

- ①言われたことを手を抜かず一生懸命にやっているのが目に見えました
- ②楽しんでくれていたので
- ③積極的に作業に取り組んでいた
- ④小さい子ども達が相手の業務でしたが子ども達もよくなつき、接し方も上手でした
- ⑤生徒が非常に楽しそうに体験してもらっていてこちらも楽しくできた
- ⑥明るく、積極的に行動できていました
- ⑦とても熱心に興味をもって活動してもらえました
- ⑧笑顔もみられ、積極的に取り組めていたと思います
- ⑧指示したことに対して丁寧に作業してくれました

設問.3 職場体験で何を体験してもらいましたか？

①洗車の拭き上げ、掃除、タイヤの空気圧入れ、タイヤワックス塗。オイル交換見学

②映像制作

③壁紙を使ったアートパネル作成、ハンドメイドアクセサリー作り

④子どものサポート

⑤セリの見学、ブライダルの活けこみ、パックの花の作成

⑥受付業務、猫背矯正

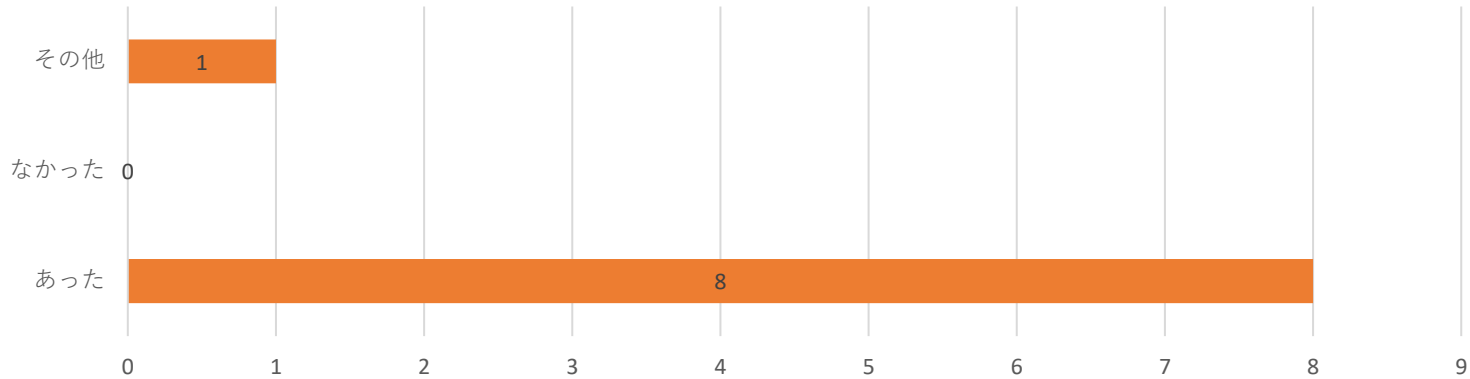
⑦弁護士の仕事内容についての学習、実際の裁判の傍聴

⑧血圧測定や食事介助

⑨買取り品の商品化、動作チェック、清掃

設問.4 この学習活動で生徒達に変化がみられました？	
あった	8名
なかった	0名
その他	1名
(どちらとも言えない)	

この学習活動で生徒達に変化がみられました？



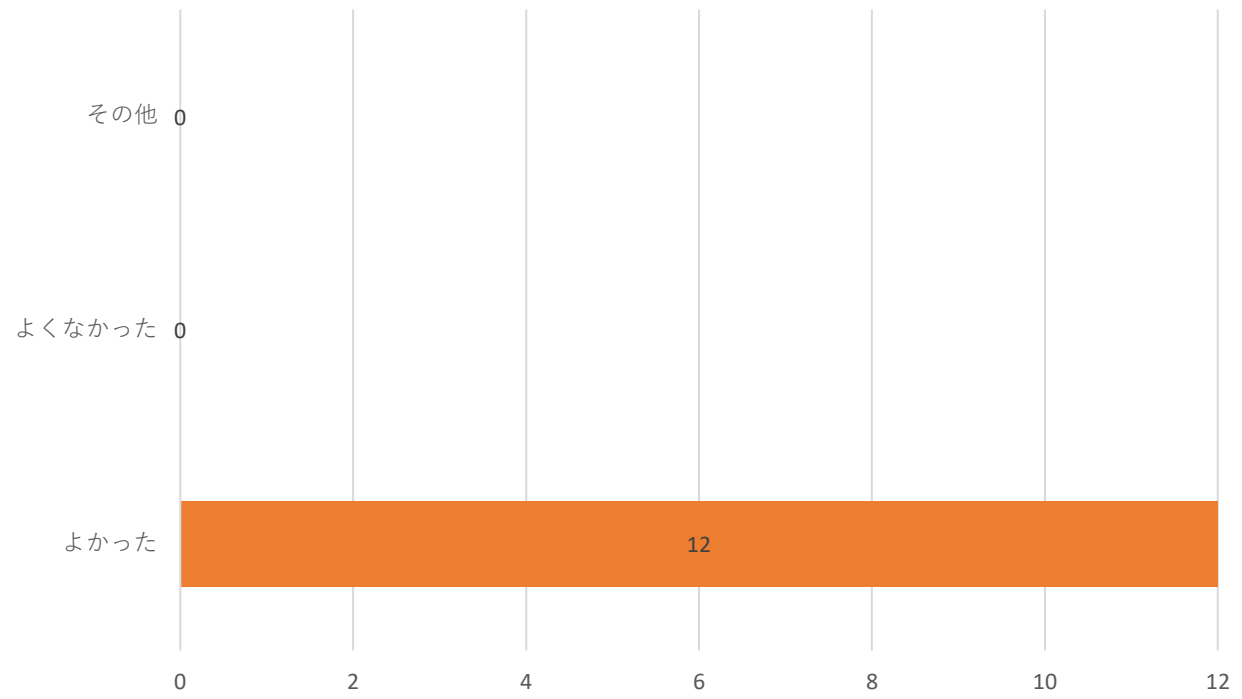
設問.5 上記にてあったと答えた方にお聞きします。どのような変化が見られました？

- ①初めは緊張気味でしたが、一緒に仕事をしたり、話をしているうちにどんどん話すようになり、もともと明るくはっきり話すせいかくなんだろうと感じられた
- ②生徒同士LINEの交換をしていた
- ③笑顔がふえて会話がはずみました
- ④最初は緊張も見受けられましたが、徐々にほぐれて笑顔も見られました
- ⑤時間が経つにつれて生徒の顔にも笑顔が多くなり、生徒の方から質問が出たりなど積極的になっていた
- ⑥最初は緊張していたが患者さんとのかわり方が徐々に良くなっていった
- ⑦午前より午後の方が表情が柔らかく、高齢者とも接することが出来ていた
- ⑧元々熱心でしたが、より積極的に意思や感想を発言してくれるようになりました

設問.6 今回の職場体験を受け入れてみて良かったですか？

よかった	12名
よくなかった	0名
その他	0名

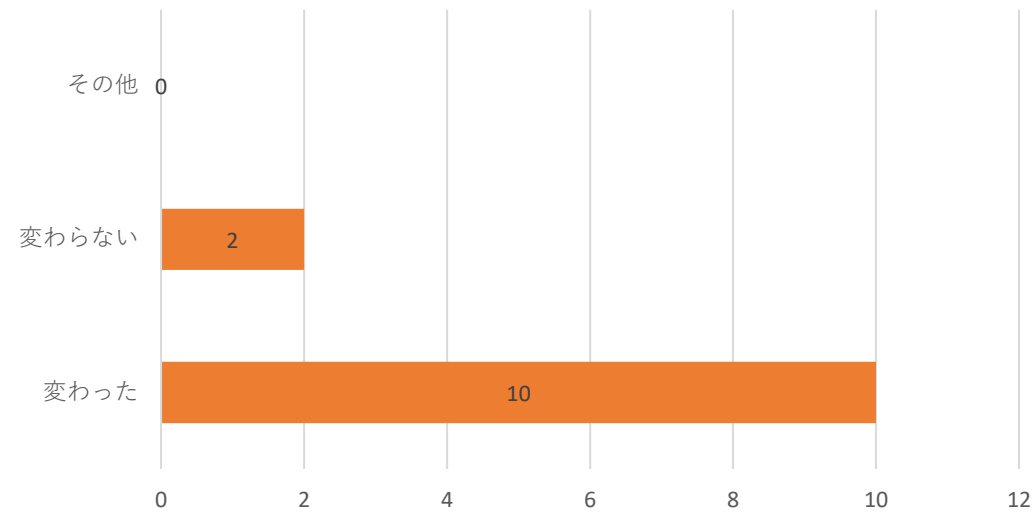
今回の職場体験を受け入れてみて良かったですか？



設問.7 この活動を通して、中学生に対する見方が変わりましたか？

変わった	10名
変わらない	2名
その他	0名

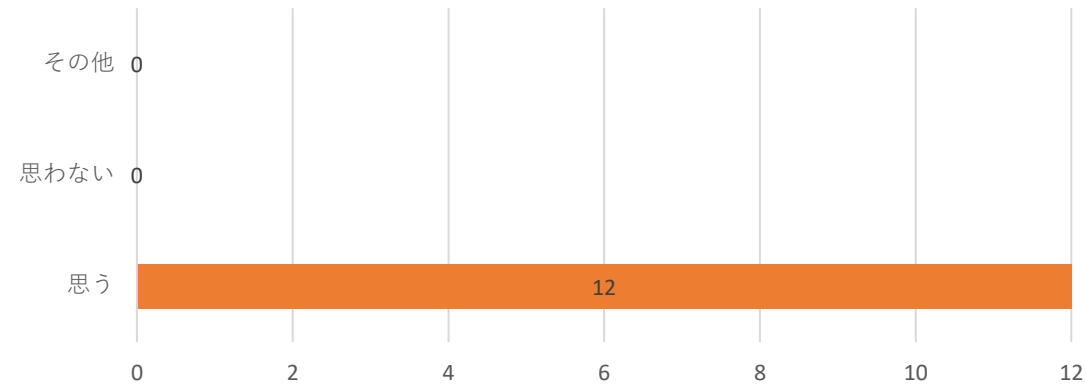
この活動を通して、中学生に対する見方が変わりましたか？



設問.8 今回の職場体験は不登校児童の成長につながったと思いますか？

思う	12名
思わない	0名
その他	0名

今回の職場体験は不登校児童の成長につながったと思いますか？

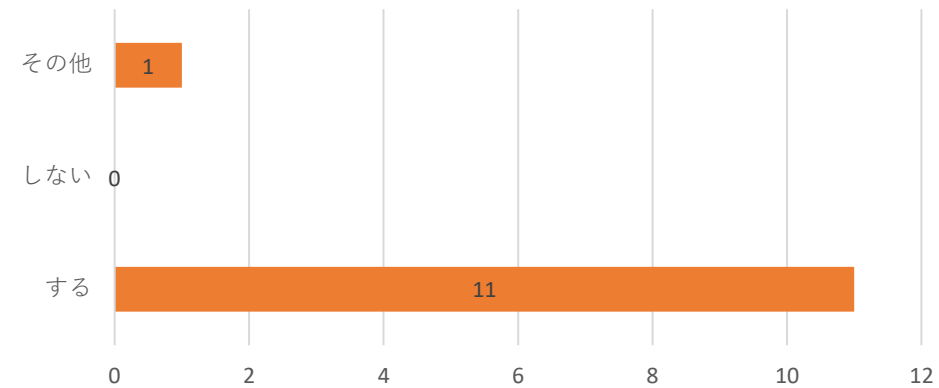


設問.9 今後同じような機会があったら職場体験受入企業として協力しますか？

する	11名
しない	0名
その他	1名

(タイミングによっては可)

今後同じような機会があったら職場体験受入
企業として協力しますか？



設問.10 その他に今回の職場体験や青年会議所が行っている職場体験につきましてご意見、ご感想などありましたらご自由にお書きください

①思春期の中学生にとって職場体験は貴重な社会経験となることは間違いなく、コロナ禍でその体験が出来ない中、JCさんが企画実行されたことはとても意義深く素晴らしいことだと思います。参加する生徒さんにとっても良い経験になるだろうし、我々企業側にとっても人材育成や将来の顧客獲得などメリットは多いと感じました。どうもありがとうございました。

②中学生にとっても、私にとっても良い機会になりました。担当委員会の皆様ありがとうございました。

③受け入れ側としてもとても勉強になりました。是非継続して欲しい事業だと思いました。お疲れ様でした

④とても素敵な事業だったと思います。新森委員長お疲れ様でした

⑤企業側も楽しく実施する事ができて非常に楽しかった

⑥素晴らしい活動だと思いますので是非継続してほしいです

光明プロジェクト 事業後アンケート

(総評)

・コロナ感染リスクがあるなかで受入企業に大多数をお任せしたにも関わらず、アンケートでは受入企業から担当委員会にお礼を言ってもらえるような事業になった。また、同じ事業があった場合に受入企業として協力してもらえるか？の問いに11社中10社が受入すると回答していることから企業側にも職場体験を通じて不登校生徒に対して何かを考えてもらえる機会となり、青年会議所の存在意義を発揮できる事業となった。